SESPP 事務局

国別技能評価システムの概要
（技能評価システム移転促進事業）

更新日：令和７年９月 30 日
株式会社ＪＴＢ

国名	インドネシア
所管政府機関	・Directorate General of Training and Productivity Development, Ministry of Manpower （MOM / 労働省 訓練・生産性向上総局） ・Badan Nasional Sertifikasi Profesi （BNSP＝Indonesian Profisional Certification Authority） ・Lembaga Sertifikasi Profesi-Logam dan Mesin Indonesia （LSP-LMI=Professional Certification Body-Metal and MachineryIndonesia）
技能評価制度	BNSP（国家職業資格認証機構）により、インドネシア国家職業技能適性標準（Standard Kompetensi Kerja Nasional Indonesia ：SKKNI）を設定。（特定の役職に就くために持っていなければならない最低の知識、技能及び職業態度を含む能力の概念に基づき定められた職種ごとに必要とされるスキルを細分化した「能力ユニット」で、その組み合わせによる評価を行う。） 職業ごとに KKNI*1 によりレベル１から最高レベル９までの９段階に分類されており、IQF*2 により教育機関等における学習、実務経験等によって得られた学習成果を測ることができる。この IQF の導入により教育や職業訓練、実務経験を通じて得られた能力を労働市場で活用しやすくすることができるようになっている。 ・SKKNI によると、職業能力検定の職種は 1183 職種あり、認定された職種は 931 職種に上る。 *1 Kerangaka Kualifikasi Nasional Indonesia　インドネシア国家職業資格制度 *2 Indonesian Qualifications Framework　　インドネシア資格枠組み
実施体制	【技能検定】 BNSP が認定した LSP（専門職業資格検定機関）が職業能力検定試験を実施。 基本的には、受検者１人１人に LSP から評価者が企業などの現場に派遣され、必要な能力を有しているかどうかを審査する。認証は、BNSP が行う。 金属機械分野（機械検査、金型仕上げ、フライス盤作業、機械保全、平面研削盤作業、プラスチック成形、金属プレス加工及び機械製図（CAD 作業））の国家技能検定の実技試験は、IMDIA（インドネシア金型工業会）がサポートする国家技能検定委員会*3（National Skill Certification Committee）が、課題や採点基準等を作成し、LSP-LMI が実施。学科試験は LSP-LMI で実施。 2024 年度は機械系職種で機械検査、金型仕上げ、プラスチック成形、金属プレス加工、機械製図（CAD 作業）の５職種の検定が行われ、172 名が受検し、150 名が合格した。 それぞれの等級の内訳は以下の通り。（受験者数/合格者数） Level1：17 名/12 名、Level2：19 名/15 名、Level3：136 名/123 名。 *3 委員会メンバー：BNSP、LSP-LMI、日系企業５社、JETRO、日本大使館
	【技能競技大会】 インドネシアにおける国内技能競技大会は毎年開催されおり、2024 年度は 37 職種が実施された。 競技職種は①建設・建築、②製造・エンジニアリング（機械製図（CAD 作業）、メカトロニクスなど）、③エネルギー・鉱業、④情報通信技術（情報ネットワーク施工など）、⑤保健・福祉、⑥農業と農業技術（電気設備、冷凍空調技術など）、⑦海事、⑧ビジネス・マネジメント、⑨観光、⑩芸術・クリエイティブ産業（グラフィックデザイン技術、ファッション技術など） の 10 分野に分類される。 実施する職種は、有識者の意見、現在発展している技術、および ASEAN 技能競技大会や技能五輪国際大会などの国際競技大会にて実施されている競技職種に基づいて選択され、参加資格

	は 22 歳以下の学生、社会人である。
SESPP 支援職種	【技能検定】 機械検査 2 級・3 級、金型仕上げ 2 級・3 級、機械保全 2 級・3 級、フライス盤作業 2 級・3 級、平面研削盤作業 2 級・3 級、プラスチック成形 2 級・3 級、金属プレス加工 2 級・3 級、機械製図(CAD 作業)2 級・3 級 ・2025 年度は平面研削盤 2 級の研修を実施予定。